

企業の未来は「人財」へのアプローチから

～従業員の意欲が経営を左右する～

「どうしたら従業員が意欲を持って仕事ができるのか」と考えたことはありませんか？
厳しい経済情勢のなか、企業にとって、今までに増して「知恵や工夫」が必要となっているのではないのでしょうか。

「知恵や工夫」は従業員の「意欲」によって生み出されるものではないのでしょうか。

それでは、どこから従業員の「意欲」が生み出されるのでしょうか。

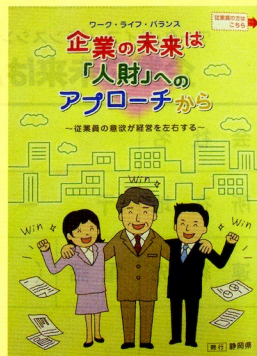
今年度のシンポジウムでは、こんなことを考えてみたいと思います。

開催日時 **平成24年1月19日(木)**

13:20～16:50 (開場 12:40～)

会場 **静岡県男女共同参画センターあざれあ 6階大ホール**

静岡市駿河区馬淵 1-17-1 (裏面地図参照)



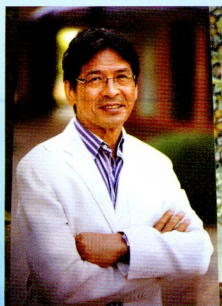
◆プロローグ

「企業の未来は人財へのアプローチから」

説明者 **若月伸隆** 静岡県経済産業部 就業支援労働政策課

◆基調講演

「働きがいを生む組織づくり」



★大ベストセラー!!
「なぜ会社は変わらないのか」
なぜ社員はやる気をなくしているのか

講演講師

しばた まさはる

柴田昌治 氏

㈱スコラ・コンサルタント
プロセスデザイナー代表

<プロフィール>

1979年東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。大学院在学中にドイツ語学学院を始め、30代頃はNHKテレビ語学番組の講師を務める。ビジネス教育の会社を設立後、80年代後半から企業風土・体質改革のコンサルティングに取り組む。

変化を妨げている価値観を変えながら変革のプロセスをつくり込んでいく「プロセスデザイン」というやり方が特徴。社員が主体的に人と協力し合っていきたいと働ける会社をめざし、社員を主役にする「スポンサーシップ経営」を提唱、支援している。

また、近年は、次世代経営人材の育成、企業再生のサポートなどにも力を入れている。

著訳書：『トヨタ式最強の経営』（共著）、『フィールドブック 学習する組織「10の変革課題」』（監訳）、『柴田昌治の変革する哲学』「考え抜く社員を増やせ!」『どこまで変えた企業を救えるのか』（いずれも日本経済新聞出版社）などがある。

300名(先着順) 参加費無料

お申込みは
ウラ面へ

対象：企業の経営者、人事労務担当者や
働いている人、関心のある方はどなたでも

◆パネルディスカッション

「従業員が生き生きと働くことができる職場づくり」

パネリスト



★年休取得率100%!!

松浦光洋 氏

東亜ドラム油業㈱ 清水事業所 取締役所長



★社長と従業員とのベストパイプ役

殿岡希久子 氏

三笠運輸㈱ 総務課長



★「社員をパーベキューに行かせよう」の著者

蓬台浩明 氏

㈱都田建設 代表取締役社長

コーディネーター

柴田昌治 氏

㈱スコラ・コンサルタント
プロセスデザイナー代表

【主催】 静岡県

【共催】 (社)静岡県労働者福祉協議会、静岡県中小企業団体中央会、静岡県中小企業労務改善団体連合会

【後援】 (社)静岡県経営者協会、(財)静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合会